

生活介護 事業所における自己評価結果(公表)

令和6年3月31日

多機能型事業所にじいる

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				・利用者の特性や状態に合わせて、マットやベットのなどを準備しています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1			・看護師、支援職員の加配をしています。	基準上では、人員配置は満たしていますが、業務改善などにも積極的に取り組んでいきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	6				・利用者にあわせて変えています。 ・事業所内の雰囲気づくりとして、季節に合わせた飾りなども行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、利用者の活動に合わせた空間となっているか	6				・日々の清掃や消毒を行っています。 ・利用者にあわせて過ごす空間を変えています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6				・支援計画の作成会議を利用して行っています。	
	6	利用者・家族等向け評価表により、本人もしくは家族等に対して事業所の評価を実施するとともに、本人および家族等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				・頂いた評価をもとに業務改善の話し合いを行っています。	
	7	事業所向け自己評価表及び利用者・家族向けの評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	6				・事業所のホームページに掲載しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		4		・現状では第三者評価実施の検討を行いました。	第三者評価の費用面で非常に困難であるため、法人内の他事業所、実習受け入れの学校等の意見等、外部からの幅広い意見を確認していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6				・施設内勉強会や外部研修への参加をおこなっています。	
適切な支援の提供	10	年齢相応の対応、言葉かけ、呼称を使っている。	4		2		・年齢に合わせた対応を心がけ、活動内容等にも配慮しています	接遇研修への参加や、事業所会議内での振り返り等を行い、検討や共有を行っていきます。
	11	職員や関係者の価値観で決めるのではなく、利用者の意思を尊重するように努めている。	6				・ご利用者様それぞれの表情や仕草、様子などを参考に、意思決定支援を行うように努めています。	意思決定支援研修などに参加するとともに、ご利用者様個々の対応を事業所内で検討、共有してまいります。
	12	利用者に合わせてコミュニケーション方法を選択している。	6				・ご利用者様の特性に合わせて、ジェスチャーやイラストなどを取り入れて行っています。	
	13	アセスメントを適切に行い、利用者や家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、生活介護計画を作成しているか	6				・モニタリングによる担当者のアセスメントをもとに、サービス管理責任者や関連職種との話し合いをおこない作成しています。	
	14	アセスメントを適切に行い、利用者や家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、多職種協働でカンファレンスの実施、リハビリテーション実施計画書を作成しているか	6				・モニタリングによる担当者(理学療法士を)を中心としたアセスメントを行い、支援計画開催時に関連職種との話し合いをおこない作成しています。	
	15	利用者の心身の状態、適応の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		1	2	・重症心身障害の特性に適合する標準化されたツールがないため、特性を踏まえながら個々に合わせた評価を行っています。	今後も、知見を広げて支援者だけではなく、ご家族にもわかりやすい評価ツールの模索を行ってまいります。
	16	生活支援計画書には、生活介護の基本方針で示す支援内容から、利用者の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		1		・ご利用者様の支援、ご家族の支援、地域生活の支援を項目としてあげて、支援内容を設定しています。	日々の支援内容や個々の目的を職員間で共有するため、会議や計画書とともに手順書を活用し、周知を図ってまいります。
	17	生活介護計画に沿った支援が行われているか	6				・支援会議を元に、支援計画の作成を行い、実践しています。	
18	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6				・支援職員を中心に行っており、事業所内で情報共有しています。		

関係機関や保護者との連携	19	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6				・年間計画を立て、季節を感じられる活動もおりませながら、固定化しないよう実践しています。		
	20	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる生活介護計画を作成しているか	6				・作成しています。		
	21	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6				・始業時にミーティングを行い、その日の流れや内容等を共有しています。		
	22	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		2		・送迎等で集合出来ないため、口頭や文章、翌日のミーティングを活用しています。	日々の支援状況や気づきなどを、個別支援や事業所の業務改善につなげていきたいと思っています。	
	23	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				・日々の記録をもとに、定期的な振り返りを行い、改善等につなげています。 ・利用児の様子が家族に伝わるような記録を心がけています。		
	24	定期的にモニタリングを行い、生活介護計画の見直しの必要性を判断しているか	6				・定期的なモニタリング、見直しを行っています。		
	25	定期的にモニタリングを行い、リハビリテーション実施計画書の見直しの必要性を判断しているか	6				・定期的なモニタリング、見直しを行っています。		
	26	相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に参画しているか	6				・担当者やサービス管理責任者が参加し、現状や方向性を報告をしています。		
	27	利用者および家族の生活に関わりのある関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6				・相談支援員と情報共有を図りながら、関係機関との連携をおこなっています。		
	28	(医療的ケアが必要な利用者や重症心身障害のある利用者等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、介護の関係機関と連携した支援を行っているか	6				・主治医指示書を導入し、医療機関との連携をはかるとともに、適宜、地域間機関との連携をおこなっています。		
	29	(医療的ケアが必要な利用者や重症心身障害のある利用者等を支援している場合)利用者の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6				・緊急時申し送りカードの作成と活用を行っています。主治医や医療機関との情報共有は、主に・看護師が対応しています。		
	30	他の障害者支援センターや障害者支援事業所等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		1		・県や医療機関、連絡会などから案内される研修会を周知し、参加を心がけています。	事業所内での情報共有を徹底するとともに、より研修時間の確保を検討していきます。	
	31	他事業所や地域等との交流や、障害のない人と活動する機会があるか	2		2	2	開設からの目標としていましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延で、取り組み検討を自粛していました。	今後、検討を再開したいと思っています。	
	32	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の生活状況や課題について共通理解を持っているか	6				・送迎時間やモニタリング時に、ちょっとしたことも共通認識できるように促しています。 ・療育内容や様子などもご家族に理解がしやすい説明を心がけています。		
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して計画的な支援を行っているか	6				・支援計画作成時のモニタリングや、日々の送迎時などで、ご家族の状況や対応、展望などを伺い、一緒に考え、自助や共助、公助につながる提案を行っています。		
	本人・保護者への説明	34	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				・契約時や規定等の変更時に直接説明をしています。	
		35	生活介護の基本指針に基づき作成された「生活介護計画」を示しながら支援内容の説明を行い、利用者・家族から生活介護計画の同意を得ているか	6				・計画書の説明を行い、同意を得ています。	
		36	多職種協働で作成された「リハビリテーション実施計画」を示しながら支援内容の説明を行い、利用者・家族から生活介護計画の同意を得ているか	6				・計画書の説明を行い、同意を得ています。	
		37	定期的に、利用者および家族からの生活上の悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				・訪問時や支援計画のモニタリング時などで話を伺い、助言や支援を行っています。	
		38	当事者および家族の会の活動を支援したり、家族会等を開催する等により、当事者や家族同士の連携を支援しているか	6				・家族懇談会や療育作品展などを開催し、保護者通しのつながりができるように支援しています。	
		39	利用者や家族からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、利用者や家族に周知し相談や苦情の申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				・相談や申し入れに対して、担当者や責任者を中心とした体制づくりをしています。それをもとに対応や、ご家族、関係機関への周知をおこなっています。	

責任等	40	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や家族に対して発信しているか	6				・日々の連絡帳の活用や事業所ホームページ、施設機関誌を活用して発信しています。	
	41	個人情報の取扱いに十分に注意しているか	6				・事業所内では鍵のかかる書庫での保管を行っています。情報の使用については、ご家族へ同意書を取り、随時確認しながら行っています。	
	42	障害のある利用者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				・十分な配慮ができるようにこころがけ、口頭だけではなく、文章や絵、サインを活用しています。	
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	1		・新型コロナウイルス感染症の蔓延により、昨年度までは交流を自粛していました。	今後は、感染対策を行いつつ、夏祭りなどの施設行事で地域の方を招いたり、施設広場を地域の方に一般開放していきます。
非常時等の対応	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や利用者、家族に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6				・マニュアルの随時更新を行っています。 ・マニュアルをもとに、災害訓練実施や災害を想定した話し合いを行っています。	
	45	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				災害対策および業務継続マニュアルを作成し、災害を想定した避難や電源確保などの訓練を行っています。その様子は施設ホームページにも掲載していきたいと思えます。	
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の利用者の状況を確認している	6				・指示書等で確認するとともに、わからない事は積極的に医師、看護師に確認しています。	
	47	食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされている	5		1		・食事提供については、事業所での提供ではなく、ご自宅から持参していただいています。 ・アレルギー対象の児童の把握を行っています。	事業所内での情報共有を徹底して行っています。
	48	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				・年度末に実施して、事業所内で共有しています。	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				・研修の開催や、マニュアル、必要書類等の調整を行っています。	
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や家族に事前に十分に説明し了解を得た上で、生活介護計画に記載している	6				・事業所会議において、話し合いや勉強会を行い、対応を検討し、計画書への記載をおこなっています。		